

令和 4 年 5 月 23 日

## 令和 3 年度 特別の教育課程の実施状況等について

広島県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
神石インターナショナルスクール	神石高原学園	私立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
神石インターナショナルスクール	<a href="https://jinis.jp/education/">https://jinis.jp/education/</a> <a href="https://jinis.jp/life/weekend/">https://jinis.jp/life/weekend/</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
神石インターナショナルスクール	<a href="https://jinis.jp/assessment/">https://jinis.jp/assessment/</a>	同左

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・  計画通り実施できている
- ・  一部、計画通り実施できていない
- ・  ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

1クラスに対して、ネイティブスピーカーの教員と日本人の2人の担任を設定し、日本のカリキュラムである算数や生活科等を英語でのカリキュラムの提供を円滑にしている。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・  実施している
- ・  実施していない

### <特記事項>

毎月のニュースレターや週に1回のSNS等で、本校のカリキュラムで行われる活動の報告を保護者や周囲へと発信し、良さや課題を共有するきっかけとなっている。

## 3. 実施の効果及び課題

### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、日本初の小学校全寮制インターナショナルスクールとして、世界で活躍する小学校段階におけるグローバル人材育成のためのカリキュラムを実施している。英語の学習だけでなく、英語による算数や理科など他の教科をも英語で提供するものである。2年目になり、IPC (International Primary Curriculum) と学習指導要領とをよりカバーするカリキュラムとなってきた成果が出てきている。

一方で課題もあり、言語による課題なのか、その教科における課題なのかが不明瞭なことがあり、「英語」と「その他教科」との評価のあり方をより検討していく必要がある。

### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施し、保護者からは寮で育まれた自立心や学校でのプレゼンテーションや自主的な学びに対する意欲等が育まれていると評価されている。その一方で、従来の学力という観点に関しては、目に見える結果としての学力（標準学力テスト等）の結果を成果として示すことはできていない。

## 4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示すような課題を踏まえて、以下のような方針で本特例の改善を図る

- 自己評価及び学校関係者評価を継続的に行うための内容の確認と更新。
- コロナウィルス感染症への感染対策等に十分に配慮しながらも、取り組みの成果の発信を積極的に行う。
- 全寮制という枠組みを意識した教育活動への取り組みのさらなる充実。
- 自己評価及び学校関係者評価による点検、評価結果を踏まえ、教員配置等の実施体制の工夫や学力の状況等、実施による効果について確認するとともに、指導計画及び授業内容と、法律に規定する教育目標に照らし、学習指導要領に定める内容事項についても確認、全体管理について定期的に確認していく。
- 日本語と英語で学習する内容の追加や見直しなど、継続したカリキュラム開発と必要に応じた教育課程特例校の変更申請。